

見て！知って！
資源をいかそう

コープデリのリサイクル

私たちの身の回りには、限りある資源から作られています。大切な資源「リサイクル」。今回は、コープデリのリサイクルの取り組みを学びます。

源を守るために必要なのが

組合員さんが
リサイクルの
現場を見学！



コープデリのリサイクルで、要となるのが「コープデリエコセンター」（千葉県野田市）。この施設を組合員さんが見学しました。

写真左から、コープみらい組合員の
内藤麻子さん、高野智子さん

コープデリのリサイクルの流れ

1 宅配・お店で資源物を回収し...



宅配
商品をお届けしたときに資源物を回収しています。

お店
店頭で資源物を回収しています。

2 コープデリエコセンターなどに資源物が運ばれます



宅配センター・お店に商品を納品した際の「戻り便」で資源物を運びます。トラックを効率よく運用することで、運ぶときのCO₂排出を減らします。

3 コープデリエコセンターでは、種類ごとに選別・圧縮



ペットボトルの選別

資源物に他の素材が混ざっていると、リサイクルができません。ペットボトルの場合、汚れやラベルが付いたものを取り除き、次の製品へと生まれ変わります。



1束で約17kg、500mlの容器が650本分！

圧縮

きれいな状態のペットボトルのみを、専用の機械で圧縮。容量を減らすことで、一度にたくさん運べるようになり、運ぶときのCO₂排出を減らします。

組合員さんのご協力で、ペットボトルのほとんどはラベルをはがし、きれいに洗っていい色付きのもの、汚れているものがあり、リサイクルしにくくなってしまったため、こうして選別しています。



協栄流通株式会社
エコセンター
澤田センター長
※コープデリ連合の子会社

4 それぞれリサイクル工場へ

ペットボトルの場合



細かく砕く



きれいに洗う



熱で溶かし「ペレット」という粒に加工



資源物ごとにそれぞれのリサイクル工場に運びます。細かく砕いたり洗浄したりして、新たな原料に加工します。

5 商品などに生まれ変わって組合員さんのもとへ



●環境に配慮して、この製品のプラスチックに再生プラスチック素材を10%使用しています。

●自然で回収したPETボトルを、この製品の再生プラスチックの一部に使用しています。



リサイクル原料を混ぜ、新しい商品やパッケージなどに生まれ変わります。資源物を再生して利用することで、新たな資源の利用抑制につながります。

商品カタログなどの圧縮

商品カタログ、OCR注文書、飲料用紙パック、食品発泡トレイ、たまごパック、古紙を種類ごとに圧縮します。コープデリエコセンターで最も大きな機械です。



運搬・リサイクルしやすいよう、機械で大きな束にまとめます。1束は約1.1トン！



トラックにぴったり入るサイズに圧縮することで、効率よく運ぶことができます。

たまごパックの選別

ラベル付き・色付きのたまごパックはリサイクルできないため、選別して取り除きます。



手作業で選別しているんですね。私たちがルールを守って出すのが大事だとわかりました。

コープデリで回収している資源物とルール

生まれ変わります

※コープでお届け・販売したものをお出しください

お店で回収しているもの

透明の食品トレー・容器 → 洗って乾かす → 化学的に分解して石油レベルまで戻し、さまざまな製品に生まれ変わります

アルミ缶 → 中をすすいで乾かし、つぶす → アルミ缶、サッシなど

お店と宅配で回収しているもの

飲料用の紙パック (内側が銀色のパック、キャップ付きパックもOK) → 洗って切り開き、乾かす → トイレットペーパーなど

ペットボトル・キャップ → ラベルを取り、中をすすいで乾かし、つぶす (キャップは別に出す) → ●ペットボトル…商品パッケージ、たまごパック、フルーツパック、ユニフォームなど
●キャップ…冷蔵庫の部品、車の内装材、化粧品容器など

食品発泡トレー → 洗って乾かす → 化学的に分解して石油レベルまで戻し、さまざまな製品に生まれ変わります

透明のたまごパック → ラベル付きのものはがす → たまごパック、フルーツパックなど

宅配で回収しているもの

宅配の商品カタログ → ヒモなどでしばらない → 再生紙

ミールキットの外箱 (透明の容器とフタ) → ラベルシールははがさなくてよい → 化学的に分解して石油レベルまで戻し、さまざまな製品に生まれ変わります

商品やカタログを入れるポリ袋 → ラベルを切り取るかはがす → パレット、車の部品など

回収できないもの

スチール缶、スプレー缶など飲料用アルミ缶以外のもの

内側が茶色 (未晒し) のもの

色付き・洗剤・化粧品・医薬品・油・ドレッシングのボトル

カップ麺、納豆の容器

色付き、紙製のもの

お届け明細書 兼 請求書

副菜付キットの容器

リサイクルのループ(循環)をつなげよう

資源物をリサイクルし、新しく生まれ変わらせるためには、「洗う」「分別する」などのルールを守って正しく出すことが大切です。汚れていたり、他のものが混じていると、リサイクルのループがつかなくなってしまうからです。



なぜリサイクルしなければならないの？

私たちのくらしは、地球からのさまざまな恵み(資源)で成り立っています。でもその恵みは限りあるもの。大切な地球の資源を守るために、リサイクルを進める必要があります。例えば石油から作られるプラスチックを、ペットボトルを再生したものに置き換えれば、その分の石油を使わずにすみます。リサイクルを進めることで、大切な資源を守ることができるのです。リサイクルの主役は私たち。1人ひとりが、ルールを守って出す、収集する、再生利用する、と役割を果たすことで、美しい地球を未来につなげることができます。



コープデリグループは、

事業と活動を通して「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成を目指しています。



お話を 聞きました

1人ひとりの小さな行動が大きな変化につながる



コープデリ連合会 サステナビリティ推進部 ながしま ゆきこ 長嶋 行子さん

回収された資源物は、コープ商品のパッケージやトイレットペーパーなどに生まれ変わっています。こうした商品はパッケージにリサイクル品であることが記載されているので、表示をよく見て利用していくことも大切です。せっかく生まれ変わっても利用されなければ、リサイクルのループが途切れてしまうからです。

ルールを守って出す、リサイクル品を利用する、といった1人ひとりの身近な行動が、社会の大きな変化につながります。大切な地球を未来の子もたちにつなげるためにも、「今」みんなで作って、行動することが大事です。



未来へつなごう

コープデリのエコ活

コープデリは、組合員の皆さんが環境問題を「知る・共有する・やってみる」きっかけづくりとして「コープデリのエコ活」に取り組んでいます。100年後に美しい地球を残すため、私たちの生活の中で

- ① CO₂ (温室効果ガス)
- ② 容器包装プラスチック (使い捨て)
- ③ 食品ロス (廃棄)

を減らすことを目指しています。コープデリは、「未来へつなごう」のスローガンのもと、SDGsの取り組みを進めています。

もっと
知りたい方は
こちら▼



次に使う人のことを考えてリサイクルを

コープデリ連合会 リサイクル事業推進室 ながしま ひろゆき 中島 裕行さん

コープデリエコセンターには、組合員の皆さんから回収した資源物が、毎日トラック140台分届きます。洗う、分別するなどのルールを守っていただき、大変感謝しています。「コープの資源物はリサイクルしやすい」とリサイクル工場からお褒めの言葉をいただいています。

リサイクルでは、「次の人のことを考える」ことがとても大切です。次に使う人が使いやすい状態にすることで、リサイクルのループが繋がります。これからも、ぜひご協力をお願いします。



内藤さん

これまでリサイクルの先は想像できなかったけれど、実際に見学して、ラベルを取ったり洗ったりすることがなぜ大事なのか分かりました。今回学んだことを、周りの人に広げていきたいです。

見学を終えて…



高野さん

今まで気をつけてリサイクルに協力していたけれど、直接目で見て、リサイクルに必要なことがよく理解できました。次の世代につなげるためにも、回収品目とルールをよく確認して、小さい努力を続けていきたいです。



ペットボトルキャップがお店の買い物カゴとワクチンに

宅配やお店で組合員の皆さんから回収しているペットボトルキャップ。このペットボトルキャップをリサイクルした買い物カゴを、業界で初めてコープデリグループの一部店舗で導入。買い物カゴ1つあたりに約30%、97個分のペットボトルキャップが使用されています。またペットボトルキャップをリサイクル資源として売却した利益は、「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会 (JCV)」に寄付。開発途上国の子もたちへワクチンなどを提供する活動に役立てられています。



ペットボトルはリサイクルの優等生?!

ペットボトルは86.0%*がリサイクルされ、一部が商品のパッケージや新しいペットボトルに生まれ変わります。ペットボトルのリサイクルが進んでいるのは、日本での素材の基準が決まっているから。さまざまな素材が混じってしまうとリサイクルには適さないため、業界ではガイドラインを徐々に整えてきました。このような動きにつながったのも、「リサイクルを進めてほしい」という消費者の声があったからこそ。よりよい未来につなげるためにも、1人ひとりがさまざまなものリサイクルに関心を持ち、「こうしたらもっとリサイクルしやすいのにな」と声をあげていくことが大切です。

*2021年度、PETボトルリサイクル推進協議会「年次報告書2022」より

ペットボトルの
回収からリサイクル
までを動画で紹介▶



コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成を目指しています。



今回の取り組みは、目標12:

つくる責任 つかう責任

につながっています。

